



落ち着いた造りで改修された御清水

第235回3月定例会

23議案を可決・承認

市会案2件も可決

第235回定例会は3月10日招集され、会期を24日までの15日間と決めました。2日目には正・副議長辞職に伴う選挙、前回から継続審議となっていた「議案第72号 昭和61年度大野市歳入歳出決算認定について」を認定の後、任期満了による各委員会委員の改選が行われました。3日目には昭和63年度当初予算など提出議案の提案理由説明がありました。会期中、理事者から提出された23議案について慎重に審議し、その結果、全議案を原案どおり可決・承認・同意しました。

また、最終日には議員提案による「大野市議会委員会条例の一部を改正する条例案」「北陸新幹線の優先着工に関する意見書」の2件を可決。市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおりです。

審議日程

- | | |
|-----------|---|
| 10日 | 本会議（議長の辞職について） |
| 11日 | 本会議（正・副議長選挙、会期の決定 継続議案採決、 常任委員会委員の改選） |
| 12日 | 本会議（議案上程、提案理由の説明） |
| 15日 | 本会議（代表・一般質問） |
| 16日 | 本会議（一般質問、追加議案、陳情上程、各案件委員会付託） |
| 17日 } 委員会 | （建設・産業経済） |
| 18日 } | |
| 22日 } 委員会 | （教育民生・総務） |
| 23日 } | |
| 24日 | 本会議（各委員長報告 質疑・討論・採決、人事案件・市会案上程） |

代表・一般質問から 市政をきく

市税伸び率ゼロの 予算編成について

問 市税の伸び率ゼロの予算編成になっているが、法人税は伸びると思うし、固定資産税の評価替えもあるので3%前後の伸びはあるのではないかと思う。伸び率をゼ

ロにした根拠は。
そういう中で箱物の建設が目立つが、でき上がると維持管理費が必要になる。

市税の伸びが期待できないのなら、働く場所をつくるなど、市の活性化のための予算編成が必要ではないか。

答 市税の伸び率ゼロというのは当市のイメージダウンになりかねないが、プラス要因が非常に厳しい状況であることから素直に査定をした。

現実には現実として市民に呼び掛けることは私の責務だと思うし、これを底として、また原点として奮起しなければならないと思う。

箱物が多いとの指摘であるが、これは多田さんからの寄付があったことや、建物の多いときに巡り合わせた関係もあって、大幅な予算編成になっているが、管理運営については最小の経費で最大の効果が上がるよう十分協議を重ねて配慮したい。

教育関係について

問 教育現場でのコンピューター活用は遅れているが、ここ数年さまざまな方法で取り組みが始められている。

時代の伸展に伴って、今後社会生活でのコンピューター活用はますます高まってくるので、バランスのとれたコンピューターを利用した教育の推進が望まれると思うが、どうか。

答 県内でコンピューターを導入している学校は3校あり、楽しく生き生きと学習をしている。

子供向けの使いやすい機器の開発も進んでおり、1/2の国庫負担もあるので、ここ二、三年で全国に普及するという情報もある。

当市でも機器を利用して確実な学習方法をとっていききたいと考えているので、そのための研修を行いたい。

| 市会案第二号 | 市会案第一号 | 第二十三号 第七十二号 | 第二十二号 | 第二十一号 | 第二十号 | 第十九号 | 第十八号 | 第十七号 | 第十六号 | 第十四号 | 第十三号 | 第十二号 | 第十号 | 第九号 | 第八号 | 第七号 | 第六号 | 第五号 | |
|--------------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------------------|------------------------------|----------------------------------|--------------------------|-------------------------------|----------------------------------|------------------------------|--------------------------|-------------------------------|--|---|--------------------------|--------------------------|---------------------|---------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 北陸新幹線の優先着工に関する意見書の提出について | 大野市議会委員会条例の一部を改正する条例案 | 昭和三十九年度大野市歳入歳出決算認定について | 昭和三十九年度大野市南部第二土地画整理事業特別会計補正予算(第三号)案 | 昭和三十九年度大野市老人保健特別会計補正予算(第三号)案 | 昭和三十九年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第四号)案 | 昭和三十九年度大野市一般会計補正予算(第六号)案 | 昭和三十九年度大野市建設基金設置条例の一部を改正する条例案 | 昭和三十九年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第五号)案 | 昭和三十九年度大野市老人保健特別会計補正予算(第五号)案 | 昭和三十九年度大野市一般会計補正予算(第六号)案 | 昭和三十九年度大野市立保育所設置条例の一部を改正する条例案 | 昭和三十九年度大野市水道事業の設置等に関する条例及び大野市水道給水条例の一部を改正する条例案 | 昭和三十九年度大野市立農村集落多目的共同利用施設設置条例の一部を改正する条例案 | 昭和三十九年度大野市税の納期の特例に関する条例案 | 昭和三十九年度大野市税の納期の特例に関する条例案 | 昭和三十九年度大野市水道事業会計予算案 | 昭和三十九年度大野市農業集落排水事業特別会計予算案 | 昭和三十九年度大野市南部第二土地画整理事業特別会計予算案 | 昭和三十九年度大野市南部第二土地画整理事業特別会計予算案 |
| 原案可決 | 原案可決 | 認定 | 同意 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 | 承認 | 承認 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 | 原案可決 |

昭和63年度の
重要政策について

問 総合病院の建設は今や全市民的な要請となり、署名運動も展開された。これを受けて市長は県へ要望したが、公共医療機関の進出が事実上不可能になったら、民間の総合病院の誘致を積極的に進めるのか。また、公共・民間を問わず病院を誘致する場合、市はどのような具体的条件を用意するつもりか。

大高移転について、市長は既成事実として用地確保から開校時期までをも明言しているが、県教委は何の発言もしていない。どのような打ち合わせになっているのか。

3地区から誘致の名乗りが上がっているが、最終的にはどのような条件で決定するのか。

答 2月17日に総合医療施設の誘致と病床数の確保について県知事に対して陳情した。現在、県で医



なお一層の充実が望まれる図書館

療計画を策定しているが、その案によると奥越医療圏域では病床数が68床不足していることになっている。

特に、大野市の場合は入院患者の63%が圏域外へ流出している現状と、病院の誘致について検討中であるので、この協議が整った段階で速やかに病床数の改訂をする——という特別事項がある。

総合病院は公的なものが最も好ましいが、一日も早く市民の要望に沿うためには、医師会や地域医療協議会で十分協議して民間の病院の誘致も必要だと思う。条件整備については進出する病院が決まってから相手方と話し合いたい。

大高移転先については、まず地権者全員の承諾が得られることと地価が安いことの外、駅からの距離的な問題や周辺の問題等があるので、県と協議したい。

施政方針と予算の
編成について

問 当市は人件費を抑制するといながら、臨時職員を雇用し、しかも6ヵ月ごとに更新しながら2年で解雇しているが、このような雇用不安を温存しながら、悪い労働条件での労働政策を続けていく

のか。

図書館費の中で図書購入費が62年度の半分になっているが、なぜ減額したのか。今年度予算の400万円で何冊購入できるか。



答 「大野市行政改革大綱」に基づいて人件費の抑制、委託化、機械化等の方策を通じて減量化に努めている。人件費の抑制としては嘱託化、事務の委託化、パート化等を進めている。

臨時職員は期間の事務、補助的の事務について雇用しているが、勤務形態は一定でなく、月に22日を超えないようにしている。

人事管理を適正にするために嘱託職員、臨時職員の採用に関する要綱を定めている。

図書館費の減額については、図書館建設を機会に60～62年、図書館整備3ヵ年計画を立て、市民1人1冊を目標として毎年図書購入に800万円を予算化してきたが、予定どおり整備できたので本年度は400万円計上した。今後は1人1.5冊を目標にした6万冊の整備計画を立てて購入したい。

400万円では2,500～3,000冊程度購入できると思う。

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|------|--------------------------|------|
| 第一号 | 昭和六十三年大野市一般会計予算案 | 原案可決 |
| 第二号 | 昭和六十三年大野市国民健康保険事業特別会計予算案 | 原案可決 |
| 第三号 | 昭和六十三年大野市老人保健特別会計予算案 | 原案可決 |
| 第四号 | 昭和六十三年大野市簡易水道事業特別会計予算案 | 原案可決 |

企業誘致と奥越工業 中核団地造成について

問 過去の高度成長時代には、数多くの大手企業が地方へ分散して工場を進出させたが、誘致の波に乗り遅れた当市は今後どのように対処するのか。

当市は進出を希望する企業があっても建設する敷地がなく、農振地域の除外を申請しても、許可を得て造成するまでには3ヵ年ぐらいかかる状態である。以前、土布子区から陳情のあった青島地籍を奥越工業中核団地にできないか。

答 当市の基幹産業は非常に困難な状態に直面している一方、生活圏の拡大や都市間の競争激化によって、購買力が著しく他都市へ流出している。

地域の産業力の強化と総合的な引き上げのため企業誘致は最重点課題である。

今後、中部縦貫道路、国道157・158号線の改良等によって企業進出の活発化も期待できる。

青島地籍は、現在行っている工業開発調査の中で工業団地の最重点地区として考えている。

調査報告書ができ次第、十分検討して地元の方々との話し合いを進めたい。



地元から公共施設誘致の
要望がある青島地籍



農道舗装事業補助を受けて整備された道路（木落）

農道舗装の実施 計画について

問 農道舗装予算が団体営農道舗装事業、県単土地改良事業、市単土地改良事業等に分かれているが振り分ける基準は。将来、農道の何割ぐらいを舗装するのか。

答 県が行う工事としては広域営農団地農道、一般農道、農免道路がある。その他として、土地改良が主体となっていく団体営、県の単独補助事業、市の単独補助事業があり、それぞれ受益面積、農道の延長、車道幅員等の採択基準がある。

団体営は受益面積が20ヘクタール以上、農道延長500メートル、道路幅員3メートル、国庫補助金40%、県補助金15%である。県単は面積1ヘクタール以上、延長200～300メートル、幅員3メートル補助率30%で、市単はそれ以下のもの補助率は95%である。

農道総延長は397キロ余りであるが、幅員4メートル以上は約307キロになる。62年度末までに舗装されたのが4万3,000メートル余りである。63年度の舗装計画は県単・市単・団体営で1万2,800メートルを、県営・土地改良総合整

備事業で4,700メートルを予定している。

幅員4メートル以上の農道307キロの70%程度の舗装を完了するには約10年ぐらいかかる。

用地対策課について

問 本年度は特に大高の移転、奥越総合公園の位置決定、奥越リゾート開発用地買収をはじめ、工場誘致の緊急性など大型プロジェクト事業が多い。これをスムーズに進めるための用地対策課を設けることは当を得た施策と思うが、この課ではどの範囲までの業務を担当するのか。

答 当市の飛躍的な発展のためには土地対策が大事であるので、用地対策課を設けたい。

担当する事務は大野高校および奥越総合公園の用地対策に関する事、市長の特命による用地対策に関する事、土地開発公社に関する事、公有地の拡大推進に関する事——などである。

大型プロジェクト以外のその他の部門で、これまで直接各課が行ってきたものについては、従来どおりそれぞれの担当課が行うことになる。

環境行政に対する市長の政治姿勢について

問 市民が心の安らぎと、暮らしと命を預けてきた大野の湧水は、ほとんど姿を消してしまい、御清水や本願清水を見ると心が痛む。

これからの大野の環境行政をどう進めるのか。

また、8月の全国水環境シンポジウムを具体的にどうするつもりか伺いたい。

答 私たちの生活環境を取り巻く諸問題は社会情勢の変化、生活様式の多様化に伴い、ますます複雑多岐^{たつか}になってきており、環境の変化が進んでいる。

住民と行政が一体となった環境の保全を図ることが課題であると考えている。

8月11・12日の第4回全国水環境保全シンポジウムは水資源に対する認識を深めることと、良好な水環境を保全して、水質保全行政の推進を図るために行われるものである。これを契機に一層の水質保全に努めなければならないが、市民一人ひとりの実践活動と浄化活動を推進したい。

学校教育と社会教育(スポーツ)の接点と今後の考え方

問 この度の蕨生小学校少年団のミニバスケットボールチームの全国大会出場は、社会教育に対する学校側の理解と、父兄の方々の協



少年サッカーチームの練習風景



昔ほどの湧水がなくなった本願清水

力が合致した理想的な姿であると思う。

中には、せっかくボランティア精神で学童の指導をしようとしても、学校の理解が得られないために十分な活動ができないこともあるように聞く。

子供たちが心をひとつにして同じ目標に向かって、真剣に打ち込めば非行などには走らない。

個性ある学校づくりから社会教育への派生を望むが、理事者の考えを聞きたい。

答 学校教育と社会教育の接点は心身ともに健全な子供の育成を図るため、指導者・地域の人たちの共通した願いで支え合っている。

学校教員が地域へ帰ったときは地域の方々とともに手を組んで子供たちの面倒をみるようお願いしている。地域社会の青年・壮年の方々がサッカーや野球等の指導者として頑張っていただいているが、さらに一層の協力をいただきたい。

維持補修費、扶助費について

問 維持補修費は庁舎・学校・道路等の活用を高めるため、その実質的価値を消耗させないための経

固定資産評価審査委員会委員の選任 飯田敬一氏(61歳) (上丁第21号68番地)

費であるが、補修時期を逸すると多額の費用がかかるし、逆に必要以上にかけても投資的経費だとはいえない。必要最小限で配慮されているか。

扶助費は任意に削減できない義務費であるが、給付は厳正に行われているか。

答 学校関係の施設については維持修繕、大型修繕等を積極的・計画的に行っており、一般的な公共施設も精力的に行うなど、細かく配慮しているつもりである。

林道についても維持費の軽減を図るべく今後舗装を精力的に行いたい。

公的扶助制度には生活扶助・住宅扶助・教育扶助・医療扶助があり、民生委員、児童委員を通じて福祉事務所へ申請してもらい、基準にしたがって調査して、扶助の要否を決定している。

その他、社会福祉関係の扶助費としては身障者厚生援護施設入所扶助、精薄者援護施設入所扶助、老人保護施設入所扶助等があり、入所費用の一部を負担願っている。

上・下水道について

問 本年度も一般会計から南部地域の上水道会計へ約8,000万円を繰り出す予定になっているが、加入者増や使用量の増加以外に赤字を解消する方法はないのか。

公共下水道は県下7市のうちで当市だけが全く着工されず、市長は本年度中に結論を出したいとのことであるが、遅れた理由を聞きたい。

今年8月、第4回全国水環境シンポジウムが開催されるが、現在の都市下水路は汚濁がひどい。二三年開催が早過ぎるのでないか。

答 上水道会計の赤字については現在施工している水質難地区を含めて、施設の有効利用を図り、赤字が増えないよう庁議等でも十分検討して努力したい。

現在の公共下水道基本計画は46年度に策定されたもので、十有余年を経過しているため、現状に見合った計画をあらゆる角度から検討中であるため、明確な着工時期についてはもう少し時間がほしい。

着工できなかった主な理由はいろいろあるが、飲料水として使っ



完成間近い水質難地域の上水道調圧場（砂山北側）

ている地下水の汚染や建設財源が最大の原因である。

大野高校の移転について

問 市長は「大高移転についてはその機が熟した」といっているが私は機が熟したと判断するひとつの大きな材料は、関係住民のコンセンサスであると思う。跡地利用も決まらないままの移転には反対であるという署名運動が行われており、コンセンサスが十分得られているとは思えないが、どうか。

答 59年12月に大高PTAから陳情があって丸3年を経過した。

その間、それぞれの立場の方々や商工会議所等の意見から判断して機は熟したと考えている。

去る1月27日に両県議にもお願いして県へも陳情したが、知事や県議会議長も即座に協力を約束してもらえたので、これ以上の熟度はないと思っている。

さらに、政経懇談会、各商店街連合会、市区長会等、あらゆる機会をとらえて説明してきたが「移転すべきだ」という意見が非常に多いので、議員の協力を願いたい。

請願・陳情審議結果

| 番号 | 件名 | 提出者 | 結果 |
|-------|-----------------------------------|---------------------------------|------|
| 陳情1号 | 福井県立大野高等学校の移転について | 中保区長 長谷川 久 外22名 | 継続審査 |
| 陳情2号 | 社会福祉施設への市補助金の交付について | 大野福祉施設連絡協議会 会長 前川喜敏 外7名 | 採 択 |
| 陳情3号 | J R北大野駅の周辺整備について | 北大野区長 角本 守 外6名 | 採 択 |
| 陳情4号 | し尿汲取り料金改正について | あかね衛生社 貝川兼男 外5名 | 継続審査 |
| 陳情5号 | 上庄公民館の改築について | 上庄をよくするつどい 会長 広田 豊 外13名 | 継続審査 |
| 陳情6号 | 地元優先の指名について | 建築工業協同組合奥越支部 支部長 横田 肇 外5名 | 採 択 |
| 陳情7号 | 日本たばこ産業株式会社福井支社富田葉たばこ取扱所跡地払下げについて | 下麻生島 区長 竹田 強 外8名 | 継続審査 |
| 陳情8号 | 名称・形式を問わず大型間接税の導入に反対する陳情書 | 大型間接税反対福井県連絡会 代表者 大崎栄太 外26名 | 継続審査 |
| 陳情9号 | 大高移転に対する反対について | 大野市商店街振興組合連合会 理事長 加納 貢 | 不採 択 |
| 請願15号 | 蕨生小学校新校舎建設について | 蕨生小学校校舎建設促進協議会 会長 埴山甚治 外5名 | 継続審査 |
| 陳情16号 | 工事の会員優先発注について | (株)大野建設業会 会長 兼井藤波 | 不採 択 |
| 陳情22号 | 市道の一部改良について | 巢原生産森林組合 山崎 武 外4理事 | 採 択 |
| 陳情28号 | 蕨生小学校の校舎改築について | 蕨生小学校校舎現在地建設同志会 代表 松田 広 外60名 | 継続審査 |

議長に高津氏、副議長に松田氏

総合病院対策特別委員会を設置



高津 議長



松田 副議長

3月定例会の2日目、平間源治議長、田原哲也副議長が辞職。直ちに選挙が行われた結果、議長に高津靖生氏、副議長に松田庄二氏がそれぞれ当選しました。また、任期満了に伴う各常任委員会の委

員の改選が行われ、次のように決まりました。最終日には市民の皆さんから要望の強い総合病院の建設促進を図るため、総合病院対策特別委員会を設置しました。

◎は委員長 ○は副委員長

●総務委員会

◎畑中 章男 ○林 順一
坂元 千秋 高津 靖生
平間 源治

●産業経済委員会

◎松井 治男 ○砂子 三郎
佐々木一夫 田原 哲也

西川 文人 金森 幸蔵

●建設委員会

◎木下 境 ○野田幾久代
松田 庄二 奥村 忠光
推井 清男 山本 武

●教育民生委員会

◎藤田 護 ○山口 忠男
雨塚 忠夫 幅口 登
安田 武雄 栄 正夫

●総合病院対策特別委員会

◎奥村 忠光 ○砂子 三郎
林 順一 佐々木一夫
畑中 章男 山口 忠男
西川 文人 安田 武雄

●議会運営委員会

◎西川 文人 ○奥村 忠光
藤田 護 山口 忠男
田原 哲也 砂子 三郎
山本 武

61年度歳入歳出決算を認定

第235回定例会2日目の11日、前回の定例会から閉会中の継続審査となっていた「議案第72号 昭和61年度大野市歳入歳出決算認定について」は、決算特別委員会の審査報告があり、委員長報告のとおり認定しました。意見・要望の主なものは次のとおりです。

決算認定の提出時期について

決算は過去の不合理や非効率をなくして、社会情勢の変化に適應した行政を行うため、翌年度の子算を考える前に検討し、その結果が予算編成に生かされなければならない。

従って12月定例会に決算報告ができるよう、提案時期を早めるべきであるとの指摘をした。

市税の収納率について

現年度課税分は順調な収納状況で収納率が高いが、滞納繰越分の収納率になると極端に低くなり、調定額の約25%しか納入されず、多額の未済額が発生している。

これを放置することは、税負担の不公平や納税意欲の低下の原因にもなりかねないので、あらゆる手段を講じて滞納整理に万全を期

すよう指摘した。

企業誘致関係の予算について

地域経済の活性化、若者の定着市民所得の向上等のため、地域振興にとって企業誘致は重要課題である。

しかし、決算書を見る限り十分活動できる予算措置が講じられていないので、積極的に予算を計上

し、全力を挙げて取り組むべきであるとの意見が述べられた。

国保・老保会計の健全化について

疾病の多様化と複雑化に加え、医療技術の高度化等による高給付高負担がさらに高まると予想される一方、当市の老年人口比率は14.7%で県平均を上回っており、一層老齢化が進むものと思われる中で、医療費の適正化は重要な課題である。この対策には「自分の健康は自分で守る」ことを基本として、病気の予防、早期発見等の健康管理体制を強化し、正しい受診、負担意識の重要さの啓蒙や予防衛生思想の向上に努めるべきであるとの指摘をした。

昭和61年度大野市歳入歳出決算書総括表 (単位 円)

| 会計区分 | 予算現額 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差引残額 |
|------------------|----------------|----------------|----------------|-------------|
| 一般会計 | 10,257,354,000 | 10,323,413,737 | 10,069,546,024 | 253,867,713 |
| 国民健康保険事業特別会計 | 1,952,611,000 | 1,962,346,234 | 1,943,517,179 | 18,829,055 |
| 老人保健特別会計 | 1,914,704,000 | 1,905,818,670 | 1,905,818,670 | 0 |
| 簡易水道事業特別会計 | 53,571,000 | 54,292,485 | 47,740,124 | 6,552,361 |
| 南部第二土地区画整理事業特別会計 | 605,973,000 | 606,038,382 | 594,758,435 | 11,279,947 |
| 合計 | 14,784,213,000 | 14,851,909,508 | 14,561,380,432 | 290,529,076 |

委員会報告

各委員長報告から

●建設委員会

①水道事業会計について

一般会計からの多額の繰り入れで補填をしなければ収支の均衡が保たれないことについては、これまでも機会あるごとに言及してきたが、この辺で抜本的な打開策を打ち出さないと、将来の水道事業の存続すら危ぶまれることにもなりかねないので、あらゆる手段を講じて健全会計に努めるべきであるとの強い意見が出された。

②道路除雪について

裏通りは幅員が狭く機械除雪が困難であり、非常に苦慮している。

特に大雪の場合などは日常生活にも大きな影響が出るので、今後は裏通りの除・排雪も計画に組み入れ、不公平にならないように配慮すべきである。また、交通安全の立場からも歩道除雪にも万全を期すべきであるとの意見が述べられた。

●産業経済委員会

①農業後継者対策について

農業後継者のための仲人報償費として560万円が計上されているが、利害がからむことも予想されるので仲人（精通者）の選択には慎重を期すべきであるとの意見があった。

②農協合併について

両農協に対していくつかの補助金や農協合併促進協議会への負担金等が計上されているが、理事者においては、農業が直面している厳しい現状や、新しい農業基盤整

備の必要性等を農業者の方々に理解してもらえるよう、行政指導をして執行するようとの意見が述べられた。

③観光協会について

市観光協会員の実績によって決まる同会への補助金が、昨年より減額になっている。市も積極的な活動を行うとともに、同会育成のための予算措置を講じてはどうかとの意見が述べられた。

④農林商工関係補助金について

市単独事業の農林商工関係の補助金をみると、農林と商工との補助率にバラつきがあるが、お互いの産業の間に整合性を持たせる意味合いから、統一すべきであるとの意見が述べられた。

●教育民生委員会

①図書館費について

図書館費が前年度より400余万円減額になっているが、これは図書充実の当初目標の1人1冊が達成できたためで、64年度から1人1.5冊目標に整備し、65年度からは移動図書館も予定しているとのことであるが、当委員会としても市民の多様な要求に^{こた}えるため、万全を期してほしい旨を指摘した。

②全国水環境保全シンポジウムについて

8月11・12日、当市で開催される第4回全国水環境保全市町村シンポジウムには、全国名水100選に選ばれた全国各地の市町村から関係者約900人を迎える一大イベントである。これを契機に全市民に水環境に対する認識を深めてもらうことはもとより、大会が成功するよう最大の努力をすべきであるとの強い意見が述べられた。

③総合病院の早期実現について

今年1月21日、2万7,354人の署名を添えて、市区長連合会から要望書が提出されたが、今日ほど



亀山公園で花見を楽しむ市民

総合病院実現の機運の高まったことはない。市民福祉の増進を最優先に考えて、一日も早く実現できるよう最大限の努力をすべきであるとの強い意見が述べられた。

●総務委員会

①新有終会館建設と市民会館改築について

新有終会館の建設と市民会館の改築については、市長の強硬な政治信念で二極分散型にするものであるが、これが完成した場合はそれぞれの施設に持たせた役割を十分果たし、その機能を遺憾なく発揮させるよう最大の努力をすべきであるとの強い意見が述べられた。

②スノーフェスティバルについて

64年2月、県が3,000余万円をかけて六呂師高原で「福井スノーフェスティバル89」の開催を予定しており、その負担金が計上されている。しかし、このフェスティバルは1年限りで会場が持ち回りになるとのことであるが、次の年から行われたいのではせっかく訪れたスキー客や観光客が寂しい思いをすることにもなるし、逆効果にもなりかねない。

せめて3年間ぐらいは継続できるように、県へ強く要望すべきであるとの意見が述べられた。